

教科目名 保健・体育 (Health & Physical Education)

学科名・学年 : 全学科 2 年

単位数など : 必修 2 単位 (前期 1 コマ, 後期 1 コマ, 授業時間 43.5 時間)

担当教員 : 大庭恵一, 川内谷一志, 田中和彦 (全クラス担当)

授業の概要			
<p>スポーツテスト (運動能力テスト, 体力診断テスト) を実施して, 個人の体力を把握させる。 スポーツテストに含まれる運動技能を向上させ, 個人技能 (陸上競技, 水泳), 対人的技能 (ソフトテニス, バドミントン, 柔道), 集団的 skill (バレーボール, サッカー, バスケットボール) における全体技能 (ゲーム) が遂行可能となるように行う。保健学習では, 「現代社会と健康」および「生涯を通じる健康」について学習する。</p>			
達成目標と評価方法			大分高専目標 (A1) (B1)
(1) 基礎体力の維持・向上を目標とする。(ゲームと記録) (2) 体育実技で行った運動種目のルールを正確に理解し, ゲームを楽しむことができるようにする。(ゲーム) (3) 保健学習で行った内容を正確に理解する。(定期試験)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1-3	1. バレーボール	○個人技能の習得後, ゲームによるルール・審判法を習得する。	【理解の度合い】
4, 5	2. スポーツテスト	○ {運動能力テスト (4 種目), 体力診断テスト (4 種目)} を正確に測定する。	
6-9	3-1. ソフトボール (男子) 3-2. ソフトテニス (女子)	○ゲームによる技能の向上と審判法を習得する。 ○ストローク, サーブなどの個人技能を習得する。	
10, 11	4. 水泳	○クロール, 平泳ぎを習得する。	
12, 13	5. 保健	○「生涯を通じる健康」について学習する。	
14	前期期末試験	○筆記による保健のテスト行う。	【試験の点数】 点
	前期期末試験の解答と解説	○保健のテストの解答と解説を行う。	
15-17	6. 柔道	○個人技能の習得後, 約束練習や簡易試合を行い, ルール, 審判法を習得する。	【理解の度合い】
18, 19	7. 陸上競技	○ハードルの基本技能を習得し, 50m ハードルのタイムを測定する。女子はハードルを低くして指導する。	
20-22	8-1. サッカー (男子) 8-2. バドミントン (女子)	○個人技能の習得後, ゲームによるルール・審判法を習得する。 ○個人技能, ルールの習得後, ダブルスのゲームを学習する。	
23-25	9. バスケットボール	○個人技能の習得後, ゲームによるルール・審判法を習得する。	
26, 27	10. 保健	○「現代社会と健康」について学習する。	
28	後期期末試験	○筆記による保健のテスト行う。	【試験の点数】 点
	後期期末試験の解答と解説	○保健のテストの解答と解説を行う。	
履修上の注意	授業は, 学校指定の体操服・運動靴・体育館シューズで行う。		【総合達成度】
教科書	高石昌弘, 小沢治夫ほか, 「現代保健体育」, 大修館書店。		
参考図書	秋山兼範, 麻生紘二ほか, 「最新スポーツルール」, 大修館書店。		
自学上の注意	授業で行うスポーツのルールを調べておく。		
関連科目	保健・体育 (1 年, 3 年)		
総合評価	達成目標の (1) から (3) について実技と試験で評価する。 総合評価 = $0.8 \times$ (授業で行った各種目の実技点の平均) + $0.2 \times$ (保健テスト点) 総合評価は, 前期評価と後期評価を平均して評価する。授業態度により, 評価点からその 20% を上限として減点を行う。 総合評価 60 点以上を合格とする。再試験は, 実施しない。		